



企業の究極の目的とは何か

エリヤフ・ゴールドラット著 三本木亮訳
ダイヤモンド社 2001 (ザ・ゴール)

経営学部准教授 岩田 弘尚

(ザ・ゴール)は、世界23カ国で翻訳され、シリーズ^{注)}累計で1,000万部を誇る大ベストセラー小説であり、主人公のアレックが本社から業績不振を理由に閉鎖予告を突きつけられた工場をわずか3ヶ月間で再建を果たすというビジネスの醍醐味を感じさせる物語が描かれている(アレックスは仕事に熱中するあまり妻との別居、離婚の危機にも直面!)。物語を読み進めれば、TOC(Theory of Constraints; 制約理論、制約条件の理論)という組織の全体最適化の原理を自然に理解することができる。

TOCのエッセンスは、部分最適の和は全体最適にならないといういわば常識にある(たとえば、チームスポーツで個々の選手の能力がいくら優れていても、強いチームになるとは限らない)。では、どうすれば組織を全体最適化できるのか。それは…。

本書の特徴は、ソクラテス式問答法という対話を通じて主人公が自ら考え、学び、解決策を導き出す形式がとられている点である。学生諸君にも、大学生活において教員との対話を通じて、アレックスのように自ら考えてゴールを目指していく姿勢をぜひ身につけて頂きたい。

組織の経営には唯一絶対の答がない。だから、面白いのである。人生も然り(アレックスの離婚の危機はどう回避されるのか?)。答のない世界で役立つ自ら考える力は、学生時代に最も蓄積することができる重要な無形の資産の一つである。

注)・「思考プロセス」エリヤフ・ゴールドラット著 三本木亮訳
稲垣公夫解説 ダイヤモンド社 2002 (ザ・ゴール:2)



・「チェンジ・ザ・ルール!—なぜ出せるはずの利益がでないのか」
エリヤフ・ゴールドラット著 三本木亮訳
ダイヤモンド社 2002



・「クリティカルチェーン—なぜ、プロジェクトは予定どおりに進まないのか?」エリヤフ・ゴールドラット著
三本木亮訳 津曲公二解説 ダイヤモンド社 2003



・「ザ・チョイス—複雑さに惑わされるな!」
エリヤフ・ゴールドラット著 三本木亮訳 岸良裕司監訳
ダイヤモンド社 2008



・「ザ・クリスタルボール—売上げと在庫のジレンマを解決する!」
エリヤフ・ゴールドラット著 三本木亮訳 岸良裕司監訳
ダイヤモンド社 2009

